

宿泊産業ソリューションサービス

中長期経営計画に対応するホテルシステム クラウドサービスでのカスタマイズも可能

(株)タツプ

東京都江東区東陽2-2-14
03-5683-5314
http://www.tapp.co.jp

株タツプは、フルラインナップのホテルシステムを提供し、納入施設は全国500以上に上る。同社のシステムを利用する業態は多様で、シティ/リゾート、宿泊特化型チェーン、温泉旅館など宿泊業界のほぼあらゆるジャンルに及んでいる。大手電機メーカーがホテルシステム事業を縮小する中、現在最も勢いのあるホテルシステムベンダーと言っている。政府の観光立国政策もあって、観光業界は急速な成長を続けている。訪日外国人旅行者が1300万人を突破し、大都市圏を中心に



代表取締役社長
清水吉輝氏

宿泊施設の稼働率が急上昇中なことは周知の通り。こうした事態を受けて、ホテルシステム見直しの機運が高まっているというのが、同社代表取締役社長清水吉輝氏の見解である。「ホテルシステムの導入に際しては、日常業務を一通りこなせる・そこそこわかりやすい操作性・低コストといった判断基準だけで選ばれることが、かつては少なくありませんでした。しかし、ホテル・旅館業を含む観光業界に明るい将来が見え始めた今、オリンピックに向けてというばかりではなく、成長の持続のために10年後を考えたホテルシステムが必要だという認識を持つ宿泊施設が増えていくように感じます」

同社のホテルシステムはフロント業務はもちろん、F&B部門、財務経理、マネージメント支援など、宿泊施設に必要なサブシステムを網羅している。製品は自社開発を基本としているためシステムの追加やカスタマイズなどへの対応が容易で、独自性を持ったサービスをホテルシステ

ムに取り込むことができる。「宿泊施設にとって設備や接客サービスはもちろん最重要ですが、ホテルシステムの改善も集客力・収益力強化に貢献することができず。ホテル・旅館業界に特化してシステムを自社開発で提供してきた当社です。で、それぞれの施設にふさわしいカスタマイズも可能です」

施設ごとのオペレーションに合わせた柔軟なカスタマイズは、クラウドでも発揮されている。サーバーの設置や管理が不要となるなどクラウドサービスのメリットは宿泊業界でも広く理解されているものの、ベンダーによるサービス内容は一様ではない。現場作業の負担は減った一方でシステムのカスタマイズができず、肝心のオペレーション改善が進まないという例もある。この点でも、同社のカスタマイズ対応方針は一貫している。また、クラウドサービスの提供基盤に、大手通信社と連携して高品質なシステム環境を確保している点も安心だ。テクニカルな内容にはなるが、大手通信社のHPに同社の導入事例が紹介されている。

中長期の経営計画に基づいた ホテルシステム選択が重要

製品のコストについては、高いと

も安いとも言われる評価される同社のホテルシステムだが、清水氏は次のように語る。「当社のシステムは自社開発を基本としてコストダウンを図り、事業経営でも間接部門の費用を抑えるなど最大限の努力をしています。システムの機能やカスタマイズ性から見た製品のコストパフォーマンスについては、自信を持っております。とくに、将来の多店舗化や長期使用という観点で、導入のご検討をいただきたいと思えます」

中長期の経営計画に基づくシステム使用という面では、同社製品のメリットは顕著だ。宿泊業界特化のため設計思想が統一され、開発・メンテナンスに当たるスタッフは業務事情に詳しく知識が共有・継承されている。さらに、システムがJAVABEASで開発されていることも重要なポイントだ。昨年、WindowsXPのサポート終了が社会問題となり、対応に悩まされた宿泊施設は少なくないだろう。Windowsのバージョンアップに応じたシステム修正コストも発生し、マイクロソフト社自体の経営方針は不透明化している。この点で、プラットフォームへの依存が少ないJAVABEAS製品はリスクが小さい。